

日本の未来を創るのはキミたちだ!!



静岡県立農林大学校

SHIZUOKA PREFECTURAL AGRICULTURE AND FORESTRY COLLEGE

学校案内





『耕土耕心』～心を耕すとは

現在、農林業は就業者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加など多くの課題が山積しています。一方で、私達の暮らしに欠かせない農林産物を生み出す重要な産業であるとともに、6次産業化、環境に配慮した循環型社会の構築など様々な分野において、成長が可能な産業として大変注目を浴びています。

本校は、再編を繰り返しつつ百二十年近くの伝統を有し、設立以来、一貫して農林業の担い手や、指導者の養成を理念として掲げ、農林業界に多くの優れた人材を輩出してきました。

校訓である「耕土耕心」には、「ひたいに汗し、土にまみれて、母なる大地を耕すことにより、自己を知り、自我を目覚めさせ、自らの心も生成させ、立派な人間性を作り上げていくことができる。大地を耕すことは、自らの心を耕すことである。」という意味が込められています。

この校訓の下、磐田市にある本校において、農林業の基礎的な知識や技術を習得するために実践的な教育を行うとともに、県の農林技術研究所や畜産技術研究所に併設された各分校においては、研究員が最先端の指導をしています。

また、本県を代表する農林業経営者や農業法人などの下で行う、先進経営研修や校外学習により、第一級の生産技術や経営ノウハウを学んでいます。

さらに、国際感覚の優れた人材の育成を目指して、オランダやアジアへの海外派遣研修や海外からの農業者や学生の受け入れなどの、国際交流活動にも積極的に取り組んでいます。

本校は、農林業者を養成する専門学校として、静岡県の農林業の発展に貢献してきましたが、近年の農林業経営の規模拡大や多様化に対応するため、このたび4年制の専門職大学と2年制の専門職大学短期大学部への移行を予定しています。

沿 革



- 明治33年 5月 農事試験場の創立時の農事試験場見習生規則の制定により、種芸・園芸・蚕業・分析・病虫の各部において担い手養成を開始する。
- 昭和24年 4月 農業改良助長法制定に伴う普及員養成の県立農業講習所を創設する。
- 昭和45年 4月 県立農業中央専門研修所が発足、農業講習所と併設、また林業講習所を創設する。
- 昭和46年 4月 農業講習所と農業中央専門研修所を統合、農業中央専門研修所に一本化し2科制とする。(技術科2年制・経営科1年制)
- 昭和49年 4月 県の農業漁業後継者養成機関の制度改正により、各試験場併設の後継者養成機関及び農業中央専門研修所を統合、県立農業短期大学校(総合農業科2年制、園芸・茶業・果樹・畜産・養鶏・養豚各学科1年制)並びに県立林業短期大学校と改称する。
- 昭和55年 4月 県立農業短期大学校と県立林業短期大学校を整備統合し、県立農林短期大学校(後継者養成学科・技術者養成学科2年制)を創設する。
- 昭和59年 4月 後継者養成学科と技術者養成学科を農業学科(2年制)に統合し、生涯教育の一環として就農青少年に対する研修科を併設、新たに県立農林短期大学校として発足する。
- 平成 元年 4月 機械研修課を設置する。(農業試験場より移管)
- 平成11年 4月 県立農林大学校に再編する。(養成部、研究部、研修部)
- 平成16年 9月 静岡産業大学と教育交流協定書を締結する。
- 平成16年10月 オランダのウェラントカレッジと教育提携姉妹校協定書を締結する。
- 平成17年 4月 養成部が学校教育法の専修学校専門課程となる。
- 平成17年12月 文部科学省告示により、養成部門修了者が専門士と称することができる課程として認定される。
- 平成26年 4月 研究部の2年制(総合技術専攻、専門技術専攻)をアグリビジネス学科として再編する。養成部園芸学科野菜コースに野菜一般専攻を追加し、4専攻に細分する。
- 令和 2年 4月 県立農林環境専門職大学(仮称)、県立農林環境専門職大学短期大学部(仮称)に移行予定。



部・学科・専攻



農を語る学びのフィールド

高校卒業者を対象にした養成部と研修部、短大・大学卒業者を対象とした研究部の3つの部で構成され、それぞれの目的に応じた学科・専攻が用意されています。

本物の実践力を身につけるための5つの特徴

確かな知識と技術を伝達

基礎から応用まで、県の技術者や研究者、充実した外来講師陣が指導

最先端技術が目の前に

すべての学科が県立の農林技術研究所、畜産技術研究所に隣接

農林業の現場を体験できる豊富な校外学習先

最前線で活躍する先進農林家、農業法人、関連企業への訪問見学とインターンシップ（希望者）を実施

農林業の最前線を経験する先進経営研修

まさに今、静岡県の農林業を牽引している経営体での長期研修を実施

国際交流の機会を提供

施設園芸先進国のオランダと躍動するアジアの農業情勢を実感できる海外派遣研修を毎年実施（希望者）

養成部

園芸学科・茶業学科・果樹学科・畜産学科・林業学科

地域の農林業を支える技術力と指導力を磨き上げる

研究部

アグリビジネス学科

企業的な経営管理や6次産業化など、時代の要請に対応できる実践力を修得した農業経営のスペシャリストへ

研修部

実践技術経営専攻

農業後継者としての確かな力を身につける



【学生の状況】

学生在籍数(平成31年4月1日現在)
()内に女子数を示す(単位:人)

養成部

学科	コース	1年	2年
園芸	野菜	36(11)	36(18)
	花き	17(9)	18(9)
茶業		12(2)	15(1)
果樹		8(3)	11(3)
畜産	大家畜	10(7)	10(4)
	中小家畜		3(0)
林業		7(0)	9(0)
計		90(32)	102(35)
合計		192(67)	

研究部

専攻・学科	1年	2年
アグリビジネス学科	2(0)	6(0)
合計	8(0)	

研修部

実践技術経営専攻	1年	2年
1年コース	2(0)	0
2年コース	0	1(0)
計	2(0)	1(0)
合計	3(0)	

※専門職大学移行に伴い、養成部及び研修部の令和2年度入学生の募集はありません。

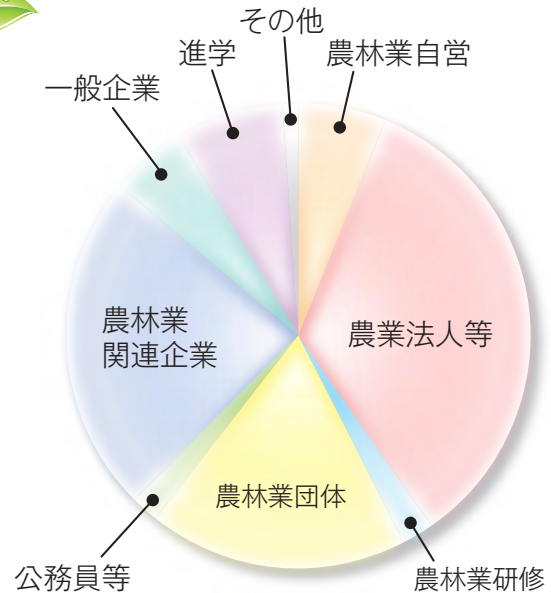
進路状況・資格



農林業はふるさとを創る仕事です

平成30年度 卒業生の進路

単位%	
農林業自営 7	農林業関連企業 23
農業法人等 34	一般企業 5
農林業研修 2	進学 8
農林業団体 18	その他 1
公務員等 2	
合計100	



取得可能な 資格

力を身につけ社会へ

※国家公務員及び地方公務員に採用された場合には、養成部卒業者は短期大学卒業と同等、研究部卒業者は4年制大学卒業と同等の給与水準が適用されます(但し、研究部では学歴免許等資格「学士」は取得できません)。

1 養成部：専門士（農業専門課程）：園芸 茶業 果樹 畜産 専門士（林業専門課程）：林業

2 授業の中で取り組む資格・免許

養成部全学科：大型特殊自動車運転免許（農耕用）、刈払機作業安全衛生教育
 茶業学科：茶手揉教師補、日本茶アドバイザー
 畜産学科：大型特殊自動車けん引免許（農耕用）、家畜人工授精師免許、フォークリフト運転技能講習
 林業学科：伐木（大径木等）特別教育、狩猟（わな猟）免許、フォークリフト運転技能講習
 選択科目：簿記検定、毒物劇物取扱者

3 授業外で取得を支援している資格・免許

産業用無人ヘリコプター操縦資格免許、フォークリフト運転技能講習、日本農業技術検定、小型ボイラー特別教育、ボイラー取扱技能講習、乙種危険物取扱者、ガス溶接技能講習、アーク溶接技能講習、小型車両系建設機械、グリーンマスター、日本茶インストラクター、車両系建設機械（整地、掘削、解体）、小型移動式クレーン技能講習、玉掛け技能者、測量士補、森林インストラクター、日本語ワープロ検定、情報処理技能検定、日本漢字能力検定、ニュース時事能力検定、農業用マルチローター

平成30年度 主な進路先

【農業法人等】
 (株)おやさい、(有)穂高、(株)パシオス、田圃屋穂波、石川建設(株)、マルデン伊藤農園、富丘佐野農園(株)れっどぱーる、(株)F・ぶらっど、(株)カクト・ロコ、日本オーガニック(株)、耕青ファーム、久幾田農園、森島農園、ベルファーム(株)、(株)すぶらうとくらぶ、K's南箱根牧場(株)、フードカルチャー・ルネサンス(株)、植竹牧場、スズキ(株)、沖之須牧場(株)、袋井高山農園(株)、(株)エスファーム、(株)ピナグリーン(GPセンター)、(株)ヤマショウ畜産、畑田農園、永田農園、(株)農健、(株)ホソヤ(GPセンター)、(有)ネクト、はままつフルーツパーク時之栖

【農林業団体・公務員】
 JA御殿場、JA遠州中央、JA掛川市、JA大井川、JAしみず、JA伊豆太陽
 天竜森林組合、掛川市森林組合、森町森林組合、森林組合お

おいがわ、富士森林組合、静岡県森林組合連合会、静岡県畜産協会、関東森林管理局

【農林業関連企業】
 (株)アグリコ静岡、クラギ(株)、ダイオ化成(株)、トヨタネ(株) 静岡県花き園芸卸売市場、(株)プランツ、(株)関東甲信クボタ、(株)寺田製作所、豊田肥料(株)、藪崎産商(株)、(株)しずてつストア、(株)サカタのタネ、天龍木材(株)、マックスパリュ東海(株)、(有)天竜フォレスト、(株)メフォス、(株)小林土木緑化

【他大学編入等】
 静岡大学農学部、信州大学農学部、JFTD学園

【海外研修】
 アメリカ、スイス



養成部園芸学科野菜コース

1学年の野菜概論では11月中旬まで、エビイモ、ナス、レタス、スイートコーンなど露地野菜の栽培実習を通して、栽培方法や収穫・調製方法などの基礎学習を進めます。11月下旬からは、メロン専攻、トマト専攻、イチゴ専攻、野菜一般専攻のいずれかに分かれて学習します。

メロン専攻



園芸学科 2年
野菜コース
小幡 宵基

私は普通高校出身ですが、小さい頃から食べることが好きで農業に興味を持ち、より実践的な農業を学べる静岡県立農林大学校に入学しました。

私が所属するメロン専攻では、温室4棟でメロンを栽培しています。季節や気温に合わせた栽培管理はとても忙しく大変ですが、作ったメロンを美味しいと言ってもらえたり、喜んでもらえたりした時にやりがいを感じます。

将来、希望する農業法人に就職できるよう、これからも楽しんで勉強していきたいです。

トマト専攻



園芸学科 2年
野菜コース
伊豆川 侑佑

私が農林大学校へ入学した理由は、農業関係の仕事に就きたいと考えていたからです。小学4年生の頃から農家になることが夢で今に至ります。農業は一言では言い表せないことを高校で知り、もっと学ぶためここに来ました。

ここでは実習中心で実践的に取り組み、また、先生方との距離も近いので、より多くのことを学ぶことができます。さらに同級生も同じ道を目指す同志、互いに切磋琢磨しながら授業に取り組んでいます。卒業後は生産法人に勤め、農業の現場をより感じ、学び、10年後には楽しい農業を目標に独立していきたいです。

イチゴ専攻



園芸学科 2年
野菜コース
吉田 美希

高校で農業を学んでいくうちにさらに知識や技術を身につけたいと思い農林大学校への進学を決めました。

イチゴは、親株の準備から収穫終わりまで1年かかるため栽培過程を学ぶのは1回となってしまいます。座学や実習を通してイチゴ栽培で重要なことを学ぶことができるため知識や技術が身に付きます。また、調製や出荷についても学ぶことができます。

農大卒業後は地元でイチゴ栽培に携わりたいと考えています。そのため今までに学んだこと、これから学ぶことを身に付けたいです。

農業を仕事にしたい人や農業関係の仕事をしたい人にとって環境が整っている学校だと思っています。

野菜一般専攻



園芸学科 2年
野菜コース
塚本 真菜

普通高校出身で実家も非農家のため、主に栽培を学びたいと思い農林大学校に入学しました。

入学時はほとんど知識のない状態でしたが、栽培の基本から、農業に関する多方面からの角度での勉強もでき順調な生活を送れています。野菜一般では多品目にわたる勉強ができ、日々たくさんの知識が入ってきます。

将来は地元で新規で独立就農を目指しています。就農後は、地域や農業界を盛り上げていきたいです。

養成部園芸学科花きコース

1学年の11月中旬までは、キク、ひまわり、アスター等の露地切花や、サルビア、コリウス、パンジー等の花壇苗の栽培実習を通して、栽培技術や利用に関する基礎学習を行います。11月下旬からは、施設栽培に重点を置き、切花専攻または、鉢物専攻のいずれかに分かれて学習します。

切花専攻



園芸学科 2年
花きコース
高橋 ももか

切花専攻では、バラやカーネーション、ガーベラなどの施設栽培を行っています。温室の管理や収穫、出荷調製の方法を学びます。学生同士の仲もよく和気あいあいと実習を行っています。

私は、農業高校で花について学んできました。より高い知識や技術を身につけて、実践でも生かせるようにしたいと考え、この学校に入学しました。

卒業後は、生産者の方々に支えていくような仕事に就き、日本の農業を盛り上げていきたいと考えています。

鉢物専攻



園芸学科 2年
花きコース
渡瀬 舜介

私は普通高校出身なので、農業高校出身者が多いこの学校の授業についていけるか心配でした。しかし、分からないことがあれば先生方が親身になって教えてくれるので、特に困ることはありませんでした。

鉢物専攻では、花壇苗、鉢花、観葉植物などの栽培管理を学んでいます。ファーマーズマーケットや農大祭で販売しているので、栽培管理だけでなく販売も勉強します。

私は卒業後、販売・流通関係の仕事に就きたいと考えています。販売にあたっては、どのように作られたのかを知っていることが必要です。農林大学校で学んだことを役立てていきたいと思っています。

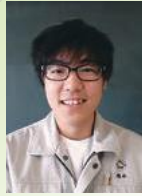




養成部茶業学科

1学年は本校内の茶園や高度茶業研修施設で、摘採、施肥、防除、品種、育苗等の栽培に関する基礎、製茶の基本となる手揉み製茶、製茶機械による荒茶製造等のお茶の加工について、幅広く学習します。

2学年は、農林技術研究所茶業センターに併設された茶業分校で、研究員の指導の下、専攻分野別の卒業論文を作成します。



茶業学科 2年
清水 紳吾

将来、農業にかかわる仕事がしたいと思い、静岡農業高校で農業を学びました。そこで、お茶に関心を持ちさらに知識を深めたいと考え、農林大学校に入学しました。

授業では、座学による勉強だけでなく、実際にお茶の栽培から製造、加工までを体験でき緑茶以外にも紅茶やウーロン茶なども学ぶため、お茶のことを深く知ることができます。学校生活は同じ志を持つ仲間と過ごせるので楽しくとても充実しています。サークルでは他学科の学生とも交流ができ充実した学生生活を送ることができます。

養成部果樹学科

1学年では、果樹栽培の基礎について学びます。特に、静岡県内の主要果樹である柑橘、梨、キウイフルーツについては、実習形式で学習します。

2学年では、農林技術研究所果樹研究センターの研究員や分校職員の指導を仰ぎ、栽培・育種・加工・土壌肥料・病害虫などのより専門的な知識を学びます。



果樹学科 2年
吉岡 千聖

私は、以前から果物の生産から加工・販売までを行う6次産業に興味を持っていました。その中でも、果樹生産について学びたいと思い、農林大学校への進学を決めました。

果樹学科では、常に樹の観察をすることができたり、実習や当番での作業をしたりすることで、栽培技術を学ぶことができます。また、寮生活で友人と楽しく過ごすことができることも魅力の一つだと思います。

私は将来、食を通して地域の活性化に貢献したり、子どもに向けた食育活動などを行ったりしていきたいです。

養成部畜産学科

1学年では、本校において畜産に関する基礎的な知識を習得します。また、子牛や鶏を飼育し、それらを教材として、実習を行います。

2学年では、酪農、肉牛を専攻する大家畜コースと養豚・養鶏を学ぶ、中小家畜コースに分かれ、少数精鋭で学習します。両コースとも、修業試験に合格すると家畜人工授精師免許を取得できます。

大家畜コース



畜産学科 2年
大家畜コース
甲斐 萌夢

私は普通高校でしたが将来は酪農に携わりたいと思い、この農林大学校に入学しました。

1年次は座学を中心に、畜産や農業に関わる基礎を学んでいきます。家畜の飼養実習は限られた期間ですが、自分の力になるものです。

将来は多くの牛を、そして酪農業を支えられるような人材になりたいと思っています。

中小家畜コース



畜産学科 2年
中小家畜コース
望月 辰真

将来、生き物に関わる職に就きたいと考え農業高校に進学しました。高校では作物の栽培、愛玩動物の飼育管理などを経験し、その中で私は畜産という分野に興味を持ち農林大学校に入学しました。1年次は授業や校外学習で畜産の現状を知り、その厳しさと重要性を学ぶことができました。2年次は中小家畜研究分校で養豚を専攻し実習中心に学んでいます。

養成部林業学科

1学年では、林業に関する基礎的な知識と技術を学ぶため、講義と実習で学習します。

2学年では、実践的な技術の習得を目的とし、林業現場での実習が中心になります。また、林業分校に隣接する森林・林業研究センターの研究員から講義や卒業論文の指導を受け、専門的な知識や技術を習得します。



林業学科 2年
佐藤 寛朗

将来のことなど全く見えていなかった高2の夏に読んだ新聞記事、それが林業の世界で働くという進路を考えるスタート地点でした。林業作業員が樹木の伐倒など様々な作業によって自然を管理しているその姿がとてまかつよく、私もこうなりたいと思いました。

授業内容は林業の基礎知識をわかりやすく教わり、入学当初よりも豊富な知識を身に着けました。日常生活は同じ年齢の生徒との共同生活なので、様々な発見もあります。

夢は林業はまだ廃れていない!これからだ!と周りに理解してもらおうことです。





研究部・アグリビジネス学科

研究部・アグリビジネス学科は、企業的な経営管理やマーケティング、6次産業化などに対応できる幅広い知識や技術、実践力を持ち、農業法人で中核を担う人材や企業的な経営を目指す新規就農者等の農業スペシャリストを育成します。



アグリビジネス学科 2年
桑原 実生

私は幼少期に多くの農業体験に参加した経験から農業に興味をもち、農林大へ入学しました。養成部を経て、地元の特産物の需要を高める研究に組みたいと考え研究部に入学しました。

現在、卒論のテーマを「浜松におけるセロリの消費形態の動向調査と新たな加工品開発」と定め、私の地元、浜松産セロリの需要拡大を目指した商品開発に挑戦しています。

卒業後は農業関連企業等に就職し地元農家の収益向上をサポートしたいと考えています。

研修部・実践技術経営専攻

農林業後継者を目指して、自分が学びたい課題にそって、実践的に農林業の技術と経営を学ぶ「実践技術経営専攻」を設けています。「実践技術経営専攻」では、2年コースと1年コースがあり、農業に従事する上で必要な技術と経営知識を習得します。



学校行事・学校生活



海外研修・交流

海外の生産・流通等の農業事情や文化・暮らし等を広く学び、海外への視野を広げる目的でオランダや、アジアの国と交流を行っています。



農大祭

毎年11月頃に本校にて行われ、数千人が来場するイベントです。学生が主体的に企画・運営する各売店やステージパフォーマンス、餅まき等、毎年大盛況となります。



球技大会

7月頃に開催され、毎年白熱した試合が繰り広げられます。関東地区の農業大学校等による大会にも参加しています。



ヤンマー学生懸賞入賞

2019年2月1日、第29回ヤンマー学生懸賞論文・作文入選発表会が開催され、本校の学生2名が、銀賞と銅賞を受賞しました。



学生寮



キャンパス・ライフを華やかに彩る

養成部1年生は全寮制です。共同生活を通じて協調性を養い、自己の確立を目指しています。

養成部2年生になると寮を出て自宅等から通学することもできます。学生寮が整備された分校では入寮することもできます。研究部と研修部は通学生です。寮での仲間との共同生活は学生生活の楽しい思い出となるでしょう。



寮部屋(男子)

男子寮(本校)



寮部屋(女子)

女子寮(本校)



寮食堂での食事風景

部・学科	入寮・通学の別	
養成部1年生	全学科	学生寮に入寮(原則全寮制)
養成部2年生	園芸学科	希望入寮制(通学可)
	茶業学科	希望入寮制(通学可)
	果樹学科	通学制(JR清水駅より送迎バス有)
	畜産学科	畜産分校 学生寮に入寮可 中小家畜分校 学生寮に入寮可
研究部	男子	希望入寮制(通学可)
	女子	通学制
研修部		通学制



静岡県立農林大学校

SHIZUOKA PREFECTURAL AGRICULTURE AND FORESTRY COLLEGE

〒438-8577 静岡県磐田市富丘678-1

TEL<0538>36-0211 / FAX<0538>34-4445

静岡県立農林大学校



【電車・バスで来校の方】

- 東京方面より 新幹線「JR掛川駅」下車一乗り換え一東海道本線「JR磐田駅」下車
 - 名古屋方面より 新幹線「JR浜松駅」下車一乗り換え一東海道本線「JR磐田駅」下車
- JR磐田駅北口 バスロータリー①番乗り場より
遠州鉄道バス「③加茂川・磐田市立病院・北高校経由」行き
バスロータリー②番乗り場より
遠州鉄道バス「②二俣・山東」「④ららぽーと磐田 二俣・山東」
「④ららぽーと磐田」行
バス停「図書館前」下車 徒歩10分

【自動車で来校の方】

東名高速道路「磐田I.C.」もしくは磐田バイパス「豊田東I.C.」で降りて
旧国道1号線(県道413号)に、
旧国道1号線(県道413号)・磐田警察署前「警察署西」交差点を北へ400m。

<http://www6.shizuokanet.ne.jp/usr/noudai/index.htm>

【E-mail】noudaigakusei@pref.shizuoka.lg.jp 【Twitter】@noudai_shizuoka 【Instagram】instagram.com/noudai_shizuoka